

企業の信頼と
社会の安心・安全のため
刻々増える乱用薬物を
検査致します。

そのニュース、
「人ごとではない」と思いました。

私たちは、覚せい剤検査・麻薬検査・大麻検査などの薬物検査を受託しています。

薬物不祥事による企業損失や 信頼回復にかかるコストを予測できますか？

頻繁に報道される薬物乱用による事故、不祥事、そしてスキャンダル。これらは一見個人の問題に見えるかもしれませんが、当事者が関係する組織や取引先にとっては思わぬリスクとなります。もしものとき、イメージダウンにより社会的信頼の毀損や、経済的損失を被ることとなりますが、その規模は事業やプロジェクトの大きさに比例します。あらゆる情報が広く素早く知れ渡るネットワーク社会であることが拍車をかけ、甚大な損害を受けた事例も散見されます。

自社の損失のリスクヘッジはもとより、取引先を巻き込むアクシデントを回避するためにも、臨床検査センターであり、薬物検査でも多くの実績をもつLSIメディエンスの乱用薬物検査をご検討ください。

●乱用薬物検査を実施した企業は、約500社、検査数は年間30,000件以上です。※LSIメディエンス受託検査数(2016年度実績)

業種別件数



1) 旅客・運輸以外の企業からの受託数は増加傾向にあります。

全国の病院から医療用検査を受託している会社です。

当社は、人々の病気の診断や治療などのために、血液や尿など人体から採取した様々な検体の検査²⁾を、病院などの医療機関から受託している国内屈指の会社です。生体内の物質測定や生命科学に関する専門企業であり、その技術と設備、ならびに運用サポート体制が整っています。

株式会社LSIメディエンス

1. 他にはない高い精度の乱用薬物検査の結果をご提供します³⁾。
2. 実施前準備から実施後のフォローまで一連の運用をサポートします。
3. 国内全域に展開する営業拠点でご相談を承ります。

2) このような検査を「臨床検査」といいます。

3) 特に、検体妥当性試験、ならびに確認検査を実施していることを指します。「ISO/IEC 17025」規格に従って実施をしています。

薬物検査は、人・企業そして社会を守ります。

●乱用薬物スクリーニング 検査要項

薬物群	薬物名称
覚せい剤	アンフェタミン・メタンフェタミン(ヒロポン)
アヘンアルカロイド系麻薬	コデイン・モルヒネ・6-アセチルモルヒネ
コカアルカロイド系麻薬	コカイン・ベンゾイルエクゴニン(コカイン代謝物)
幻覚剤	MDA(メチレンジオキシアンフェタミン)・ MDEA(メチレンジオキシエチルアンフェタミン)・ MDMA(メチレンジオキシメタンフェタミン)・フェンシクリジン
大麻・マリファナ	THCカルボン酸体(大麻成分代謝物)

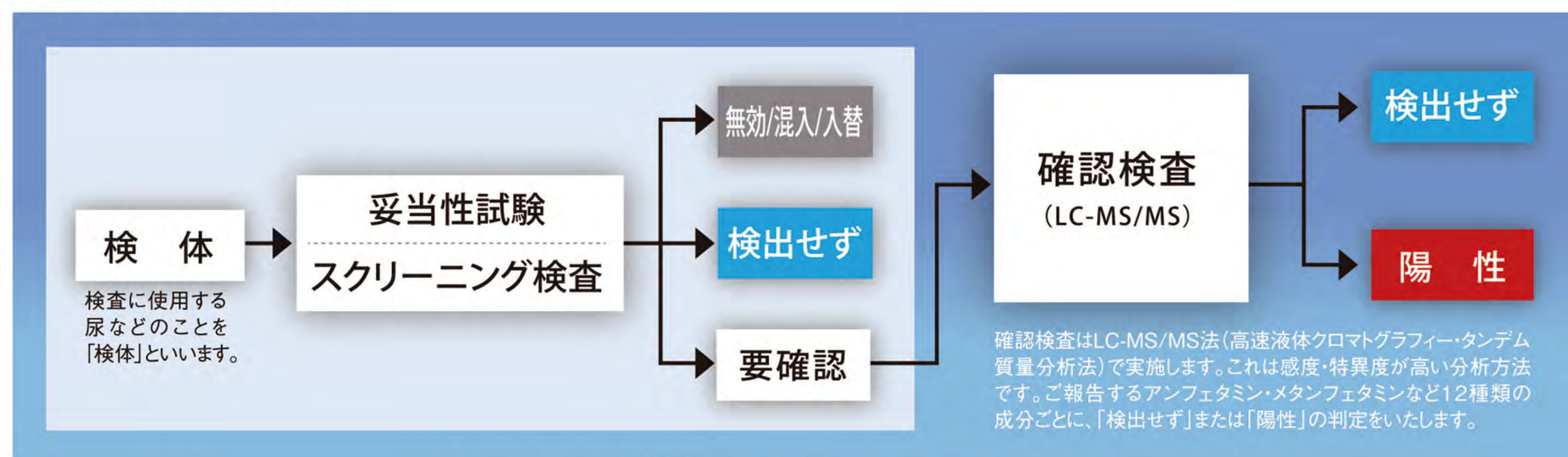
項目コード	25752
検査材料	尿・8mL/冷蔵
所要日数	3~6営業日報告
検査方法	EMIT法(スクリーニング)・ LC-MS/MS法(確認検査)
報告様式	「検出せず/N」、「陽性/P」 (薬物ごとの定性報告)、 「無効/I」、「混入/A」、「入替/S」

株式会社LSIメディエンス 《確認試験》まで、すべてを自社で行う民間受託機関です。

検査結果は公表するものではありません。秘密は厳守いたします。

※乱用薬物検査は、スクリーニング検査採取容器(スピッツ)に尿を8ml入れて送って頂きます。1本から申し込み可能です。
価格には容器本体価格と検査費用、検査報告書作成費が含まれます。詳しくは、お問合せ下さい。

●乱用薬物検査の流れ



大切なことは乱用薬物を使用させないこと。抑止することです。



私たちは、乱用薬物検査を通して、社会と企業の健全化を目指します。

株式会社LSIメディエンス

本社：〒101-8517 東京都千代田区内神田一丁目13番4号
TEL.03-5994-2111
<https://www.medience.co.jp/drugabuse/>
ご質問・ご要望などがございましたら、お気軽にお問い合わせください。



LSIメディエンスの乱用薬物検査は、国際審査認定機関であるNATA(National Association of Testing Authorities, Australia)より「ISO/IEC17025」の認定を取得して実施しています。



お問い合わせ先 薬物検査の相談・依頼は以下までご連絡ください。

LSIメディエンス代理店



お問合せフォーム



おかもと株式会社

Tel:079-245-5168 Fax:079-245-5225
〒672-8012 兵庫県姫路市白浜町寺家2-69-4
<https://okamoto.hyogo.jp>